

健康産業流通新聞

2022.12.8号

南米ハーブ特集・アセロラパウダーVC17%DR掲載記事

天然志向を背景に好調

マリーンバイオ アセロラパウダー

南米素材としてアセロラ（東京都千代田区）。同 イアントとの取引も長ラパウダーを原材料供給 素材については30年ほど、年間10ト以上を供給しているマリーンバイオ の供給実績を持ち、クラしている。また、「天然

ビタミンC高含有」で訴求するなか、近年の天然志向を背景に需要は拡大し、供給量、売上ともに年々増加している。

「アセロラパウダーVC17%DR」は、ブラジルで収穫された未成熟のアセロラ果実を原料に使用したもの。赤色の完熟果と比較して緑色の未成熟果が、よりビタミンCを豊富に含むことから原料に採用した。

原材料の製造にあたっては、高度濃縮技術を活用。これにより、天然ビタミンC含有量を17%以上とし、規格化した。

マリーンバイオでは、アセロラパウダーVC17%DRについて、独自の機能性研究を行い、そのデータをを用いて新規顧客

開拓も進めている。これまでに実施した細胞試験では抗酸化機能とコラーゲン産生促進機能を確認。抗酸化機能では、皮膚線維芽細胞を紫外線による光老化から保護する働きを見出している。

一方、マウス試験では同素材に含まれるビタミンCが、合成されたビタミンCに比べて、吸収効率が高く、バイオアベイラビリティ（生体内利用効率）が向上していることを確認している。

なお、同社はクライアントが安心して利用できるように、原材料の品質などを自社工場徹底管理している。安定供給や競争力ある価格に加え、品質も強みとして販売促進を図る。